

相談支援センターだより

秋田大学医学部附属病院
相談支援センター 発行
第24号平成25年7月30日



相談支援依頼の着手はお早めに！



平成24年度社会保険診療報酬・介護報酬の同時改定は、「地域包括ケアシステムの構築推進」と「医療サービスと介護サービスの切れ目ない提供」「医療と介護の役割分担」「地域における連携体制の強化」を重点課題としています。

退院調整加算も改定以前は介護保険の1号・2号保険者が対象だったものが、入院7日以内に退院困難者の抽出を行い、適切な退院先に適切な時期に退院できるよう計画した場合、加算が得られることになりました。しかも入院日数が短いほど加算点数が多くなっています。

当センターでの退院支援件数は、平成24年度では328人に1967回の相談対応を行っており、退院や転院の支援件数は年々増加しています。

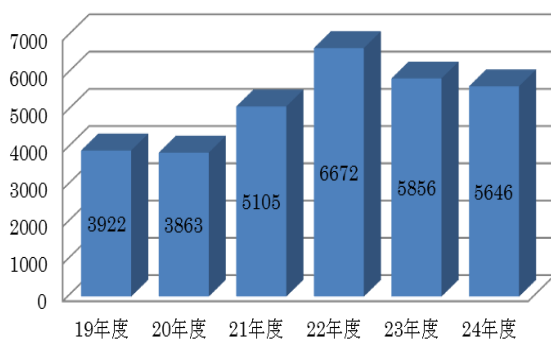
5月から退院支援スクリーニングシートも改定し退院困難者の抽出が簡便になりました。退院困難者の抽出及び退院支援のスクリーニングについては入院病棟において行い、退院後の療養に必要な調整は退院調整部門が行うなど、早期からの連携が重要となります。

3月から開設している在宅支援連携外来では、入院外来を問わず地域連携の情報提供や諸連絡も担当しており、病棟に限らず外来や各診療科と相談支援センターとの協働がより安心で満足につながる支援になるものと思います。

地域連携、医療費や社会資源活用などの医療相談、がん情報の収集・提供、また病院へのご意見をお聞きするなど多方面での対応を行っている相談支援センターです。患者さんや御家族を尊重する対応を第一に心がけておりますので、早目に相談支援依頼の連絡をお願いいたします。

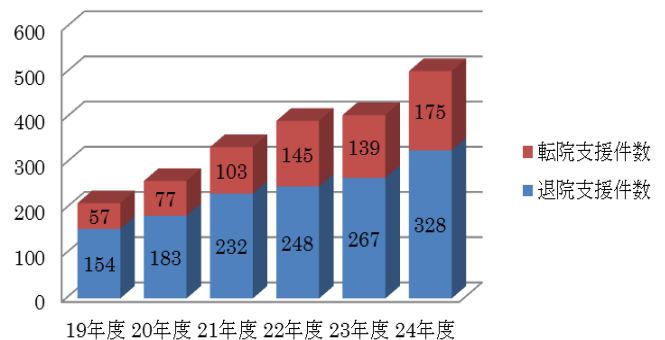


相談支援件数の推移



相談の件数は22年度をピークにやや減少傾向ですが…

退院転院支援数の推移



退院支援件数は年々増加しています！

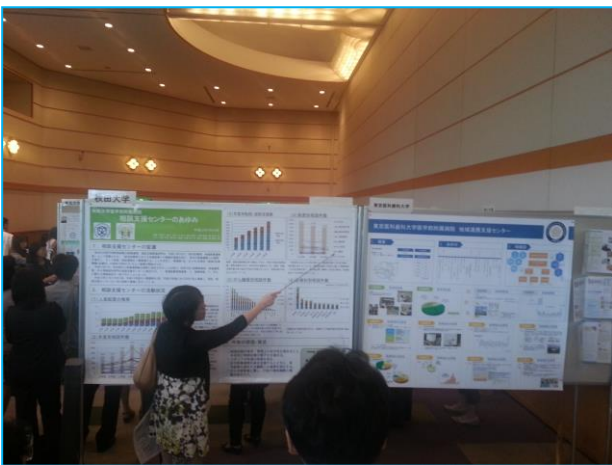


第10回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

7月19日（金）・20日（土）、仙台国際センターにて上記連絡協議会が開催されました。本院からは佐藤看護師長、渡邊看護師、金子MSW、田村医療サービス室長の4名が出席し、全体では42の国立大学から259名の出席がありました。

初日は、文科省高等教育課、石巻市立病院、東北大学病院の基調講演及び九州大学病院地域医療連携センターの活動に関する講演がありました。大学病院をめぐる諸課題や東日本大震災の実体験に基づく活動報告など、貴重なお話しを聞く機会を得ました。続いて各大学によるポスタープレゼンテーションを行い、秋田大学からは佐藤師長が発表しました。

2日目の分科会では、医師、看護師、MSW、事務の各部門に分かれ、それぞれの職種が抱える諸課題について活発な意見交換が行われました。



ポスタープレゼンテーションの様子です。



クラッチ・クラッチーナと記念に一枚！

「皆様のご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます



ケース1：私は今年2月と4月に癌で入院しています。おかげ様で二度とも手術はうまくいき、現在は回復に向かっています。病気は自分との闘いであります。手術から1、2週間位は本当に辛い日々でした。先生や看護師さん全スタッフさん達の細かい気配り・はげましがあってこそ頑張れました。これからも自分達の仕事に自信と誇りを持って、ますますの活躍を心より応援してます。本当にありがとうございました。

（平成25年4月受付分より）

回答：この度は、私たちの対応に、温かいお言葉をいただきましてありがとうございます。大変嬉しく受け止めさせていただきました。大きな手術を終えられ回復に向かう患者さんの姿は私たちの大きな励みであり、喜びです。今回いただいたお言葉を励みに、これからも患者さんに寄り添った看護ができるようさらに努力して参ります。ありがとうございました。

